



道徳授業地区公開講座で保護者の皆様よりいただいたアンケートを一部ですが紹介します。御協力ありがとうございました。

【低学年の保護者の皆様より】

- 家にいるときに、失敗したこと、やりすぎて家族に注意されたことを話し合いました。授業参観のときより、真剣に考えている様子でした。授業の内容や目的はとても良いものだと感じたので、続けていきたいです。
- おうちでは、かぼちゃのように行動して泣いてしまうことがあるねということになりました。やめたほうがいいとは思いますが、やめられないとも話しています。これからの成長が楽しみです。
- 本日はありがとうございました！授業のあった日の夜、早速やりすぎて自分が痛い目にあって泣くことができました。「かぼちゃと同じだよ。」と話しても納得できないようでした。くり返し伝えていくことが大切だなと思いました。
- 授業の中でかぼちゃは「少しくらい大丈夫でしょ。」という気持ちでいたのではないかと考えたようでした。ふだんの生活の中でも「危ないよ。」と言われても「これくらい大丈夫。」とやりすぎた結果、ケガしたことがあったことを伝えると「そういえばあったね。」と話し、「やりすぎないことや周りの人の話を聞くのが大事」という考えを聞くことができました。
- もしも自分なら「勇気を出して謝る。」と言っていました。ありがとうございました。

【中学年の保護者の皆様より】

- 「親切を気負わず、習慣化するにはどうしたらよいか？」一緒に考えました。娘は「どんな小さな親切でも、毎日続けることが大切だと思う。」一日一善みたいに一日一親切（できるときは九親切でも十親切でも！！）はどうか？親切の輪が広がったら、皆幸せになれると思う。」と言っていました。なので「これからは、今日できた親切を親子で毎日報告し合おうね。」と話しました。子どもだけではなく、親も大変勉強になる学校公開でした。ありがとうございました！！

- 人に親切にすることの大切さについて話をしました。教材の主人公のように自分の大事な物をあげられるようにはまだなれないですが、自分ができる手助けが何かを考え、思いやりをもてるようになってほしいです。
- 我が家では、親も子も守る「家族みんなの目標」として、1.時間を守る 2.整理整頓をする 3. あいさつをする を掲げています。あいさつはちゃんとしますが、他のことについては、習慣づけさせるのは難しいといつも思っています。
- いつも時間や約束を守らないことで、家でもいら立ちやけんかの原因になります。道徳の授業で学んだことができるように、家庭でも話し合いながら時間や約束を守ることを身に付けていきたいと思います。

【高学年の保護者の皆様より】

- 発言した時より深い心情を家では話してくれました。話し合う機会になりよかったし、親子とも同じで、「また親切にする」でした。先生の意見も聞けて楽しい授業でした。
- 家庭でもう一度今回の振り返りをしました。その結果、相手の気持ちを考えながら勇気をもって困っている人がいたら親切にする、相手も自分自身も笑顔で優しい気持ちになれる見返りは求めないという話になりました。
- 『『親切』』と一言で言っても色々な捉え方があるね。」と半世紀近く生きている人生の先輩として「良いことも悪いことも必ず自分の身に返ってくる」という話をよくします。また何事にも相手がもし自分の家族、友人、大事な人だったらと置き換えてみよう。「小さな親切、大きなお世話」という言葉もありますが、基本的には自分の信念と相手への思いやりをもって挑んでほしいです。
- 子供だけではなく、大人になってからも同じで、「うそをつかないこと」が「人からも信じてもらえること」につながる大前提かな…という話をしました。
- 公開講座で東小学校の校歌を皆さんで歌ったこと、元市長さんの子供を育てるにあたっての家庭でのあり方など大変よいお話を聞かせていただきました。音楽劇も思っていた以上に本格的で楽しめました。

今後も道徳の学習を通じて子供たちの成長に尽力してまいります。御家庭でもぜひ子供たちと一緒に道徳について語っていただければと思います。